

岡山労働局長がベストプラクティス企業を訪問しました ～ 株式会社荒木組の取組について～

目的・要旨

厚生労働省では毎年11月を「過労死等防止啓発月間」とし、長時間労働が懸念される事業場に対する重点監督、過重労働解消に向けた気運の醸成のため種々の啓発活動を実施しています。

ベストプラクティス企業訪問は、この期間中の取組の一つとして、長時間労働削減に向けた積極的取組を行っている企業を広く地域に紹介し、他の企業においても参考としていただきたいとの趣旨で実施します。

岡山労働局（局長 谷中善典）では、4回目となる今回、時間外労働の上限規制の適用が令和6年4月1日まで猶予されている建設業においても、猶予期間中の労働時間削減に関する自主的取組が重要であることから、働き方改革に熱心に取り組まれている株式会社荒木組を訪問させていただきました。

株式会社荒木組

本社所在地 岡山市北区天瀬4番33号
 代表者 代表取締役 荒木雷太
 創業 大正10年4月1日（1921年）
 法人設立 昭和35年12月（1960年）
 資本金 2億円
 従業員数 208名（男188名、女20名）
 業務内容 総合建設業



1 労働時間削減、年次有給休暇取得促進に向けた取組の状況を紹介します

「世界一働きやすい会社」が目標

みんなが働き続けたい、若者が就職先として選びたい・憧れる会社へ

時間外労働、年次有給休暇の実績

時間外労働時間の実績

2015年 308.5時間 2018年 258.2時間（約16%減少）

年次有給休暇の取得状況

2017年 取得日数 9.6日 2018年 取得日数 11.8日（約23%アップ）

2 具体的な取組の一例を紹介します（紙面の都合上、一部の概要のみの記載となります。）

業務改革

土木現場の測量にドローンを活用することにより作業速度が向上。

全事務所から繋がる共通のファイルサーバーを設置し、業務効率化・業務の見える化を実現。

見える化による意識改革・職場環境改善

「いきいきWORKボード設置」行動の可視化

「法定の有給休暇日数を掲示」休暇の可視化

人材育成・教育

職位階段可視化。やる気キープ。協力会社職長向け勉強会実施。荒木組社員の管理負担の軽減及び労働時間の削減へ

働きやすい職場づくり

「ありがとうカード」で感謝の気持ちを社員等に伝える取組を導入。社内コミュニケーションを活性化。



荒木社長

荒木社長の「建設業における働き方改革」へのコメント

現在、働き方改革に取り組み始めて7年目。3カ年ごとの経営計画のテーマに沿って発案、実施してきた。「ICTの活用」、「PCの強制終了」、「早よ帰れ」だけでは労働時間短縮はできない。一人ひとりの意識改革、職場環境改善が大切。ほめてもらえる環境、見える化して互いが分かり合える環境、早く帰れる環境作りが重要。

詳しくは 岡山労働局HP

ベストプラクティス企業への局長訪問

検索

